

明石市内7高校の女子生徒が意見を交わす「第13回クラブユース・フォーラム」が3日、グリーンヒルホテル明石(明石市大明石町2)で開かれた。今回のテーマは「日本の伝統文化 学び・つなぐ」。各校1人ずつが出席し、論文発表やディスカッションで堂々と意見発表。最優秀賞には明石西高校2年の渡辺仁美さん、優秀賞に明石商業高校2年の大谷果穂さんが決まった。

(松本寿美子)

市内7高校の女子生徒がフォーラム

伝統文化への意見、堂々と

女性の地位向上などを目

指す奉仕団体「国際ソロプチミスト明石」主催。ほかに明石高校2年の早崎真由さん、明石清水高校3年の殿樫未緒さん、明石城西高校2年の河井芳乃さん、明石南高校2年の溝辺くるみさん、明石北高校2年の鷺尾和香さんが出場した。

渡辺さんは空手を通じて努力の尊さと達成感を知り、道場の先生が流ちょうに英語を話す姿に憧れ、英会話教室に通い始めたことを語った。「将来は日本を飛び出し、世界で活躍する人になりたい。空手を海外で伝えたい」と話した。

大谷さんは、全国に先駆け明石市が「SDGs未来都市」に選ばれ、ジェンダー平等やパートナーシップを掲げたことを紹介し「2030年までには年齢や性別、障害など、あらゆる条件の人が生き生きと共生しているだろう」と話した。ディスカッションでは、

日本の伝統文化について意見を発表する高校生たち―明石市大明石町2



渡辺仁美さん(明石)が最優秀

インバウンド(訪日客)が「いませ」のお辞儀やおしぼり、水のサービスなど、普段何げなく存在しているものが感動されている」との意見もあった。

「財布を落とせば絶対に教えてくれる」や「街の清潔感、入店時の『いらっしゃいませ』」に京都市である同フォーラムに出場予定。